

公共事業再評価調書（県土整備部）

課室名	港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 戸口田 克維 (坪内 稚和)	内線	4440 (4450)
-----	-----	---------------------	------------------------	----	----------------

事業種目	港湾事業	事業名	事業区間	総事業費	約5.5億円
		改修(地方)事業 津居山港気比地区	津居山港気比地区		

所在地		事業採択年度	現地着工年度	完成予定年度	進捗率
豊岡市気比		H1	-	H18	0.5%

事業目的	事業内容
平成2年度に策定された、津居山港開発計画に基づき但馬地域の活性化の為、近海遊覧船の旅客船ターミナルを整備する。	現時点(H12) 岸壁(-4.5m)L=70m 事業費約5.5億円 泊地(-4.5m)A=44,000m ² 道路 6x150m

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成元年度に事業着手。本工事には着手していない。 平成10年度に再評価を行い、河川管理者との協議が整うまで休止の答申を得ている。 当事業は与党三党の公共事業見直しにより中止対象事業とされている。
------	---

評価視点	<ul style="list-style-type: none"> 長期総合指針検討委員会報告書(全県ビジョンに向けて:H12.7)によると、将来的には、人の活気に満ちた地域を実現するため、港湾機能を活かし、人・文化・経済等の交流を進めることが必要とされている。 日本海沿岸域活性化調査(H11.3:平成10年度の地元ヒアリング結果)によると、観光客を集客し地域の活性化を行う為の既存観光周遊船のネットワーク化について要望が出ているが、岸壁整備の具体化には至っていない。
(1)必要性 現状	

(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> B/C=1.1 但馬地域の交流機能を高める為、旅客船ターミナル整備の必要性はある。 しかし、社会経済情勢の変化を踏まえ、計画の見直しが必要である。 現在就航している周遊船が寄港する場合は、既存施設や簡単な施設整備で代用可能である。 河川管理者との河口処理の協議に時間を要する。
有効性	
代替性	

(3)環境適合性	_____
----------	-------

(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 上記の理由から、優先的に行う必要はない。
--------	--

評価の結果	休止	理由	<ul style="list-style-type: none"> 河川管理者との協議が整っておらず、周遊船就航の見通しも立っていない。 また計画立案当時とは社会経済情勢も変化していることから、津居山港全体の開発計画について見直しを行う必要があるため、引き続き休止とする。
-------	----	----	---